

(第4回子育て支援員(仮称)研修制度に関する検討会(10月17日開催) 資料)

子育て支援員研修の基本研修科目等 (素案)

基本研修の科目・内容(素案)－見直し①

基本研修の科目・内容の再整理の考え方

(研修科目の考え方)

子育て支援員基本研修は、

(何を学ぶのか) 最低限修得しておくことが必要となる子育て支援に関する基礎的な知識・原理・技術・倫理に関するもの。

(研修の目的) 子育て支援員としての役割や子どもへの関わり方を理解し、子育て支援員としての自覚を持つことができるようにする。

(専門研修との関係) 各事業の対象とする子どもの発達や特性や年齢に応じた具体的な内容は専門研修によって修得。

(見直しについての意見・論点)

- ①受講者数の確保等の観点からは、研修時間数は最長でも1日で終わられる設定が望ましい。
- ②福祉人材確保の入口と考えた場合には、あまり高いハードルを設けるべきではない。
- ③基本研修の時間数としては、6時間としてはどうか。
- ④研修時間数ありきではなく、学ぶべきものの必要性や優先順位による整理も必要。
- ⑤子育て支援員の基本研修としての研修内容の確保の視点も必要。
- ⑥子どもの安全に係る課題の概要は基本研修において履修すべきではないか。
- ⑦科目間の履修内容の重複の整理が必要

上記の意見・論点等を踏まえ、基本研修の質の確保を図り、研修内容を見直すため次の考え方

- | | |
|--------------------|-----------|
| ①構成の再整理(研修構造の視点) | ④専門研修との整理 |
| ②優先順位の視点(科目内での調整) | ⑤その他 |
| ③重複の整理の視点(科目間での調整) | |

により研修科目(素案)を再整理。



基本研修の科目・内容(素案)－見直し②

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
1. 子ども・子育てに関する制度や社会状況における子育て支援事業の役割を捉えるための科目				
①子ども・子育て家庭の現状	講義	60分	<子育て家庭(対人援助を行う対象)に対する理解> ①子どもの育つ社会・環境 ②子育て家庭の変容 ③ワークライフバランス	①子ども・子育て家庭と家庭生活を取り巻く社会的状況について理解する。 ②家庭の意義と多様な子ども・子育て家庭のニーズについて理解する。 ③子ども・子育て家庭の支援について理解する。 ④子育て家庭の貧困や非行などの背景の概要について理解する。
(見直し内容案)				
ア. 目的の②「家庭の意義と多様な子ども・子育て家庭のニーズについて理解する。」と科目②「子ども家庭福祉」の目的の②「多様なニーズに対応する子育て支援サービスの現状と課題について理解する。」については、関連があることから一体的に履修することが可能ではないか。(重複の整理)				
②子ども家庭福祉	講義	90分	<子育て支援制度の理解> ①子ども・子育て支援新制度の概要 ②子ども家庭福祉施策の理解 ③子ども家庭福祉に係る資源の理解	①子ども家庭福祉施策・制度の現状と課題について理解する。 ②多様なニーズに対応する子育て支援サービスの現状と課題について理解する。 ③児童福祉施設等と専門職の役割を理解する。 ④地域の子ども・子育て支援の体制の現状と動向を理解する。
(見直し内容案)				
イ. 目的の①「子ども家庭福祉施策・制度の現状と課題について理解する。」については、子育て支援員としての業務に直接影響を及ぼさないことから、履修内容を概要程度に留めることとしてはどうか。(優先順位の視点)				
ウ. 目的の④「地域の子ども・子育て支援の体制の現状と動向を理解する。」については、履修内容を地域資源の状況(就業への関連を含む)や概要程度に留めることとしてはどうか。(優先順位の視点)				
2. 支援の意味や役割を理解するための科目				
③子どもの発達	講義	60分	<子ども(対人援助を行う対象)に対する理解> ①発達への理解 ②発達への援助 ③胎児期から青年期までの発達 ④子どもの遊び	①子どもの発達の概要について理解する。 ②子どもの発達について発達観(「研修内容の構造」の視点(別紙))について理解する。 ③生涯発達の概要について理解する。 ④子どもの発達に応じた援助の基礎について理解する。 ⑤「遊び」の意義と「遊び」の質について理解する。

基本研修の科目と内容(素案)－見直し③

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
子育て支援員の役割と倫理				
④保育の原理	講義	45分 60	<子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解> ①発達・成長の保障 ②情緒の安定 ③生命の保持	①発達・成長過程に応じた保育の基礎について理解する。 ②情緒の安定と生命の保持に係る保育の基礎について理解する。 ③ 子育て支援事業における安全対策の必要性、危機管理の概要について理解する。

(見直し内容案)

- エ. 科目⑧「緊急時の対応」については、事業の特性に応じた対応等を習得する必要があることから、専門研修ワーキングチームにおいて検討することとし、子育て支援事業に起こり得るリスク等については、目的の③「子育て支援事業における安全対策の必要性、危機管理の概要について理解する」において履修するものとする。(専門研修との整理)
- オ. 科目④「保育の原理」の履修内容が子どもの発達・成長の側面から保育の基礎を学ぶものであることから、科目③「子どもの発達」と科目を統合し、一体的に履修することが可能ではないか。(構成の再整理)

⑤対人援助の価値と倫理	講義	45分 60	<子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解> ①保護者・職場内・他組織との連携・協力 ②守秘義務・個人情報の保護 ③子どもの最善の利益 ④利用者主体 ⑤対象者の尊厳の遵守	①対人援助の 価値 について理解する。 ② 保護者・関係者・関係機関との連携・協力の必要性 を理解する。 ③対人援助の 倫理 についての理解する。 ④ 子どもの権利擁護の基本的視点を理解する。 ⑤子育て支援員(仮称)の役割と倫理について理解する
-------------	----	-----------	---	--

(見直し内容案)

- カ. 対人援助を担う子育て支援員にとって、保護者への対応を学ぶことは重要であることから、目的の③「対人援助の価値と倫理」において“保護者との連携”を含めるものとする。(その他)
- キ. 科目④「保育の原理」と科目⑤「対人援助の価値と倫理」については、一体的履修を前提としていた尾木座長代理案(参考資料2)によるものとしてはどうか。(構成の再整理)

基本研修の科目と内容(素案)－見直し④

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
3. 特別な支援を必要とする家庭を理解するための科目				
⑥子ども虐待と社会的養護	講義	90分	<p><子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ①子ども虐待と影響 ②虐待の発見と通告 ③虐待を受けた子どもに見られる行動 ④子どもの権利を守る関わり ⑤社会的養護の現状 	<ul style="list-style-type: none"> ①子ども虐待とその影響(虐待を受けた子どもに見られる行動など)を理解する。 ②虐待を受けたと思われる子どもを発見した際の基本的な対応の概要について理解する。 ③子どもの権利擁護の概要について理解する。 ④社会的養護の意義と現状・実施体制の概要について理解する。 ⑤社会的養護を必要とする子どもや家庭の状況について理解する
<p>(見直し内容案)</p> <p>ク. 目的の③「子どもの権利擁護の概要について理解する。」については、権利の主体としての子どもの最善の利益等を中心とした内容に絞った履修内容としてはどうか。(優先順位の視点)</p> <p>ケ. 目的の④「社会的養護の意義と現状・実施体制の概要について理解する。」について、基本研修では“意義と現状”に留め、“実施体制”については、専門研修において行うものとしてはどうか。(専門研修との整理)</p>				
⑦子どもの障害	講義	60分	<p><子育て支援(対人援助)を行うための援助原理の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ①障害児支援制度の理解(合理的配慮を含む) ②障害特性に応じた関わり方・専門機関との連携 ③障害児支援サービス等の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ①障害特性について概要を理解する。 ②障害児支援制度の概要について理解する。 ③障害特性に応じた関わり方や専門機関との連携の概要を理解する。 ④障害児支援サービス等の現状について理解する。

基本研修の科目と内容(素案)－見直し⑤

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
4. 子どもの安全確保				
⑧緊急時の対応	講義	60分	①子どもの事故と予防 ②子どもの疾病 ③緊急時の対応	①事故防止と安全対策に関する基礎について理解する。 ②子どもの疾病に関する概要について理解する。 ③事故等の発生時の対応・危機管理の概要について理解する。

(見直し内容案)

コ. 科目⑧「緊急時の対応」については、事業の特性に応じた対応等を習得する必要があることから、専門研修ワーキングチームにおいて検討することとし、子育て支援事業に起こり得るリスク等については、科目④「保育の原理」の目的③「子育て支援事業における安全対策の必要性、危機管理の概要について理解する。」において履修するものとする。(専門研修との整理)

8科目 9時間(540分)

(科目の整理に当たっての留意点)

- ①研修内容の整理にあたって、基本研修の内容を概要程度と整理するものについては、専門研修WTにおいて各事業の特性の面から視点が必要。
- ②「子ども家庭福祉」の見直し内容案イの概要程度とする場合の内容のイメージは、
 - ・受講者が、子ども・子育て支援新制度における各事業(子育て支援員に関わる)の位置づけを理解する。
 - ・受講者が、「子育て支援員」としてどのような枠組みの中で働くことになるのかを理解する。
- ③「子ども家庭福祉」の見直し内容案ウの概要程度とする場合の内容のイメージは、
 - ・地域の子ども・子育て支援体制の状況について、地域資源の整備状況と今後の動向と課題、地域の人材確保の状況について理解する。
- ④「対人援助の価値と倫理」において援助の対象とする者は、各事業に応じて幅広く保育に限定されないことに留意する必要がある。

※各専門研修ワーキングチームにおいて基本研修科目等の素案を踏まえ専門科目を検討し、検討結果を踏まえ再度、基本研修科目等についても検討

基本研修の科目と内容(素案)－見直し⑥

○個別の見直し内容を反映した見直し案

科目	前回案 (時間)	A案		B案		C案		D案		E案		F案	
		項目	時間	項目	時間	項目	時間	項目	時間	項目	時間	項目	時間
①子ども・子育て 家庭の現状	60分		60分		60分		60分		60分		60分	※	90分
②子ども家庭福祉	90分		90分	ア.イ.ウ	60分	ア.イ.ウ	60分	ア.イ.ウ	60分	ア.イ.ウ	60分		
③子どもの発達	60分		60分		60分		60分		60分	オ	90分		60分
④保育の原理	60分		60分		60分		60分	キ	90分				60分
⑤対人援助の価値 と倫理	60分		60分		60分		60分				60分		60分
⑥子ども虐待と社 会的養護	90分		90分		90分	ク.ケ	60分	ク.ケ	60分	ク.ケ	60分	ク.ケ	60分
⑦子どもの障害	60分		60分		60分		60分		60分		60分		60分
⑧緊急時の対応	60分	コ	0分	コ	0分	コ	0分	コ	0分	コ	0分	コ	0分
合計	9時間		8時間		7.5 時間		7時間		6.5 時間		6.5 時間		6時間

※ 「①子ども・子育て家庭の現状」と「②子ども家庭福祉」の履修内容は子ども・子育て家庭の現状と課題、対応策で構成されていることから一体的な実施による時間数の見直しが可能か履修内容の精査が必要。

基本研修の科目と内容(素案)ー見直し⑦

研修時間数のイメージ

基本研修	専門研修	時間数 (検討中のもの)	総時間数	現行
<7科目> 6時間 ~ 8時間 <8科目> 9時間	放課後児童コース	5時間 ~10時間	11時間 ~19時間	— (放課後児童支援員:24時間)
	社会的養護コース	5時間 ~10時間	11時間 ~19時間	—
	地域子育て支援コース	5時間 ~20時間	11時間 ~29時間	—
	地域保育コース			
	選択とした場合	21時間 ~22時間 +2日以上※	27時間 ~31時間 +2日以上※	家庭的保育者 基礎研修
	選択としない場合	25.5時間 ~26.5時間 +4日以上※	31.5時間 ~35.5時間 +4日以上※	21時間 ~22時間 +2日以上

※基本研修との重複部分については今後整理